

中学校・国語科 授業実践アイデア例（2年生）

「それって本当に正しい？～自分の視点で深掘り発信！～」

設問 ② 問4ウ 表現・共有（話すこと）】

●領域 【A 話すこと・聞くこと】

●評価 思考・判断・表現

【出題の趣旨】資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうか。

●身に付けさせたい力

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

課題

- ①スピーチのどの部分を、より分かりやすく伝えたいかを明確にして表現できていないのではないか。
- ②工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかを焦点化して表現できていないのではないか。

授業改善案



- ①表現の工夫について友達と助言し合う場面の設定
- ②話の内容の「どの部分」が「どのように」分かりやすくなるのかを説明し合う工夫
- ③思考、判断を促すために、「何のために」「誰を対象に」「どのような状況で」話すのかを明確に設定する工夫

自ら設定したテーマについて、場や目的に応じた視覚的な資料や機器を用いて、クラスメイトに伝える場面での協働的な学びを通した学習活動を紹介します。

第1・2時

見いだす

学習の見通し・題材の設定

- 目的を確認し、学習計画を立てゴールまでの見通しをもつ。
- 身近な出来事から「それって本当に正しい？」と感じる「テーマ」を立てる。
- ペアやグループで意見交換し、多面的に考える。

この単元は、『それって本当に正しいの？』という視点で考えてみます。情報をそのまま信じるのではなく、自分で調べ、根拠を整理して、最後はプレゼンで分かりやすく友達に伝えることを目指します。

指導のポイント

☆「話したい」「聞きたい」と思う「テーマ」を考えさせることが大切です。

- ①「自分ごと」に引き寄せて考えさせる。
- ②「小さな違和感」に注目させる。
- ③「他人との違いや対話」から課題を見つけさせる。

「朝食」は本当に集中力を高めるのかをテーマにして学習しよう！



「朝ごはん」って本当に必要なのかな？



え～!!「朝食」を食べないと授業に集中できないよ。



私は「朝食」を抜くことがあるけれど、あまり変わらないよ。



見いだす

疑問をもつ

既習の内容や方法を振り返る

課題を明確にする

「テーマ」決定までのイメージ

う～ん。朝の時間が足りないことかな。「朝食」を食べる時間がないんだ。

情報の収集・内容構成の検討・考えの形成・記述

- 「問い」に対する「仮説」を設定し、論理の筋道を検討する。
- 論理を検証するための根拠やデータを収集しスライドに整理する。
- ICTで資料を作る。（プレゼンテーションソフト等）

指導のポイント

☆テンプレートを用意するなど、スライドのデザインに時間をとられすぎない工夫が必要です。

☆「問い」「仮説」「検証結果」「結論」の流れを考える時間を十分に確保しましょう。

【テンプレート例】5枚構成

- ①タイトル（発表題と発表者名）
- ②問いと仮説（問いの内容、理由と仮説）
- ③検証計画（調べ方・先行情報・データ収集方法・反例）
- ④分かったこと（重要な事実・根拠）※画像等は1枚まで
- ⑤結論と提案

事前に、スライドのテンプレートをデータで配付しておく等の工夫が大事です！



新たな考えに気付く
 友達と互いに学び合う
 自分の考えを伝える

広げ
深める

この活動が
ポイント！

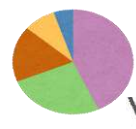


考えの伝達・考えの再考

- 4人組で相互にリハーサルを行う。
- 「アドバイスミッションカード」に基づく具体的な助言を行う。
- 助言を受け、自分の発表の再考を行う。

このグラフから朝食の必要性がわかります！

④分かったこと



指導のポイント



何についての
グラフなのかな



☆より分かりやすく伝えるには、どの部分を再考するとよいのかという視点をもたせることが大切です。

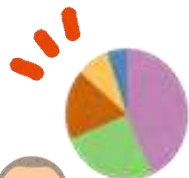
☆再考したことにより、どのように分かりやすくなるかを焦点化させることが目的です。「アドバイスミッションカード」で役割を明確にし、目的のある聞き方と助言に変える。

焦点化のイメージ

過去の新聞記事から「朝食」と集中力に関する情報を探すと、もっと説得力が増すと思います。



グラフのタイトルや調査の項目が入っていたら、朝食の何に関するデータなのかが明確に伝わります。



再考のイメージ

より分かりやすく伝えるには、「どの部分を改良するとよいのか」具体的にイメージすることが大事です。

「タイトル」



グラフの「タイトル」を入れて何についての調査なのかを明記してみよう！
誰を対象にしたアンケートなのかも口頭で補足した方が伝わりやすいかもしれないな。



第8時

まとめあげる

発表・思考の過程の振り返り

- 発表会をする。（小グループ又は全体）
- 発表後の振り返りを行い、自分の学びや考えの変化を言語化する。

新たな疑問をもつ
学んだことを確実に身に付ける
学んだことをまとめる
思考の過程を振り返る

まとめ
あげる

千葉県の
授業改善
キーワード
「自分の言葉で
学習のまとめ
を書く」

授業改善のポイント

- ☆「自分の発表を振り返る」「人の発表から学ぶ」ことを目的としています。
- ☆聞き手も参加型にする工夫が大切です。

【指導のポイント】

発表の直後の記憶が鮮明な内に、1人あたり1～2分でメモをとらせる。

【メモの内容（例）】

①聞く側の視点（例）

- ・印象に残った発表とその理由
- ・発表を聞いて得た新しい知識
- ・「自分なら～」というアイディア
- ・提案型の改善案

②発表者側の視点（例）

- ・内容（主張や根拠は明確だったか）
- ・構成（スライドや話の流れは分かりやすかったか）
- ・話し方（声・速さ・視線・表情など聞き手への配慮はあったか）
- ・次はどこを改善するか。

【振り返りパターン（例）】

次にどう生かしたいかを考えさせることで、「学びの継続性」を見取することができます！



2項対比パターン

- ・「できたこと」と「できなかったこと」を並べて書く
- ・「前回の自分」と「今回の自分」を比べて書く

3段活用パターン

- ・1段目「できたこと」や「気付いたこと」
- ・2段目「課題」や「理由」
- ・3段目「次回工夫したいこと」や「問い返し（次につながる問い）」

（文例）

最初は、ただ調べたことを並べて説明するだけで、聞き手が本当に理解しているか意識できていませんでした。

友達の「助言」から、グラフにタイトルを入れることや別の資料を提示することでより説得力が増すことが分かり、意識して説明することができました。

（文例）

朝食を食べた人の方がテストで集中できるというデータを紹介することができました。

しかし「食べない人」全員が集中できないという反例の根拠が示せず、聞き手を納得させるには不十分だったように感じます。

さらに、「食べる・食べない」だけでなく、睡眠や運動も影響しているのではないかと考えました。次はその「問い」について調べてみたいです。

アドバイスミッションカードの例

構成力 サポーター（主張する内容が伝わっているかをチェックしてください。）

発表者の名前：

自分の名前：

- ☐ 話の順番がわかりやすかった
- ☐ 主張がはっきりしていた
- ☐ 例や図がうまく使われていた
- ☐ まとめが短く簡潔だった
- ☐ その他（

）

アドバイスしたいこと

話し方伝え方 サポーター（声や表情など、伝え方を見て助言してください。）

発表者の名前：

自分の名前：

- ☐ 声の大きさがちょうどよかった
- ☐ 速さが適切で聞きやすかった
- ☐ 表情や身ぶりがあってよかった
- ☐ 自信をもって話していた
- ☐ その他（

）

アドバイスしたいこと

根拠&説得力 サポーター（主張に説得力があるかを見てアドバイスしてください。）

発表者の名前：

自分の名前：

- ☐ 主張と理由がしっかりとつながっていた
- ☐ 例が具体的でよかった
- ☐ 反対意見への考えも入っていてよかった
- ☐ 話を聞いて「なるほど」と思った
- ☐ その他（

）

アドバイスしたいこと

スライド サポーター（スライドと内容が合っているかを見てアドバイスしてください。）

発表者の名前：

自分の名前：

- ☐ スライドの文字が見やすかった
- ☐ スライドの資料や画像が主張をサポートしていた
- ☐ 流れが（問い→理由→仮説→事実→結論）の順になっていた
- ☐ スライドの情報が整理されていた
- ☐ その他（

）

アドバイスしたいこと